



令和6年度 水稻生育診断情報 No.1

(令和6年6月10日)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター
近江八幡市安土町大中 516 (TEL: 0748-46-4391)

(次回は6月下旬の予定)

現在の生育状況

◎4月の気温は高かったが、5月中旬以降は降水量が多く気温が低い傾向で推移しており、植え傷みは少ないものの、生育はやや抑制傾向である。

◎植え付けの早いほ場では中干しの時期を迎えている。

管理のポイント

◎茎数の増加に注意し、「中干し」が遅れないようにする。

◎目標穂数の8割の茎数が確保できたほ場では、速やかに溝切り・中干しを実施する！

◎生育が遅れているほ場は、浅水管理で分けつを促進させる。

1 気象の経過と予報

(1) 気象の経過 (彦根気象台観測、平成26～令和5年の平均値との比較)

| 要素 | 最高気温 | 最低気温 | 日照時間 | 降水量 |
|-------|------|-------|--------|--------|
| 4月 下旬 | 高い | かなり高い | かなり少ない | 平年並 |
| 5月 | 上旬 | 平年並 | 平年並 | 平年並 |
| | 中旬 | 平年並 | 低い | やや多い |
| | 下旬 | かなり低い | やや低い | かなり少ない |

※ 気温 $\pm 0.5^{\circ}\text{C}$: 平年並、$\pm 0.5\sim 1.0^{\circ}\text{C}$: やや高い(低い)、$\pm 1.0\sim 2.0^{\circ}\text{C}$: 高い(低い)、$\pm 2.0^{\circ}\text{C}$: かなり高い(低い)

※ 日照時間 $\pm 5\text{hr}$: 平年並、$\pm 5\sim 10\text{hr}$: やや多い(少ない)、$\pm 10\sim 15\text{hr}$: 多い(少ない)、$\pm 15\text{hr}$: かなり多い(少ない)

※ 降水量 $\pm 10\text{mm}$: 平年並、$\pm 10\sim 20\text{mm}$: やや多い(少ない)、$\pm 20\sim 30\text{mm}$: 多い(少ない)、$\pm 30\text{mm}$: かなり多い(少ない)

(2) 近畿地方1か月予報 (6/8～7/7) (大阪管区気象台6月6日発表)

■向こう1か月の天候は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、平均気温は高い見込み。

■週別の気温は、1週目は平年並または低い確率ともに40%、2～4週目は高い確率が40%。

2 生育状況

【農業技術振興センター 水稻作況調査 (5月31日時点) による。表1および後掲グラフ参照。】

■草丈は、「みずかがみ」は平年よりやや短く、「コシヒカリ」は平年より短かった。

■茎数は、「みずかがみ」は平年並み、「コシヒカリ」は平年より少なかった。

■主稈葉数は、「みずかがみ」は平年並み、「コシヒカリ」は平年よりやや少なかった。

■「きらみずき」の草丈、茎数、葉数はそれぞれ24.0 cm、103本/m²、5.4枚であった。

表1 令和6年(2024年)水稲作況調査 生育調査結果

滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

| 基準日 月/日 | 品種名 | 草丈(cm) | | | | 茎数(本/m ²) | | | | 主稈葉数(枚) | | | |
|------------|-------|--------|------|----|------|-----------------------|-----|----|-----|---------|-----|------|-----|
| | | 本年 | 平年 | 比 | 前年 | 本年 | 平年 | 比 | 前年 | 本年 | 平年 | 較差 | 前年 |
| 5/31 | みずかがみ | 23.2 | 25.0 | 93 | 27.6 | 153 | 157 | 97 | 164 | 6.2 | 6.1 | +0.1 | 6.4 |
| | コシヒカリ | 22.6 | 25.6 | 88 | 27.0 | 134 | 152 | 88 | 154 | 5.6 | 5.8 | -0.2 | 6.0 |
| | きらみずき | 24.0 | - | - | - | 103 | - | - | - | 5.4 | - | - | - |

※移植日: 5月10日(播種日: 4月19日)、栽植密度: 18.5株/m²、植付本数: 3本/株

※比および較差は平年との比較。平年は、H26~R5年(10年間)の平均値。

※「きらみずき」はR6年から有機質肥料を用いて調査開始。

5月31日現在の生育状況



「みずかがみ」

茎数 153 本/m² (8.3 本/株)



「コシヒカリ」

茎数 134 本/m² (7.2 本/株)



「きらみずき」

茎数 103 本/m² (5.6 本/株)

3 今後の管理

(1) 水管理(溝切り・中干し)

- 還元障害が見られるほ場では、軽く干して、根の生育を助ける水管理を行う。
- 目標穂数の8割の茎数が確保できれば、遅れずに溝切り・中干しを行う。
- 中干しの際は、強制落水は行わず、自然減水とする。
- 中干しの程度は、ほ場が軽くひび割れ、足跡が付く程度とする。
- 強い中干しは根を傷めるので注意する。中干し期間に無降雨が続く場合は適度に走り水を行い、土壌を乾かし過ぎないようにする。

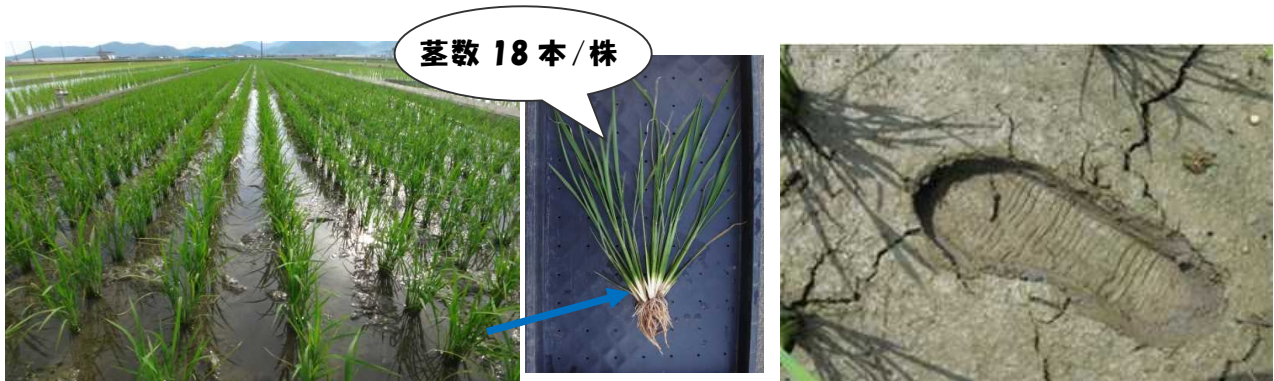
中干しの目的

- ① 無効分げつを抑制し、過繁茂を防ぐ。
- ② 土壌中に酸素を供給し、根の伸張を促す。
- ③ 田面を硬くすることで、収穫直前まで入水できるようにする。

中干し開始の茎数

| | 50 株植え | 60 株植え | 70 株植え |
|--------|---------|---------|---------|
| 株あたり茎数 | 20～21 本 | 17～18 本 | 14～15 本 |

(注) 目標穂数 380～400 本/m²とした場合に、その 8 割の茎数(300～320 本/m²)に相当する 1 株あたりの茎数。



中干し開始時期の株張り程度（坪 60 株植）

中干し程度を目安

溝切りの目的

- ① 中干しの効果を高める。
- ② 中干し後の水管理を行いやすくする。
- ③ 収穫期に短期間で落水しやすくする。



(2) 追肥

①側条施肥田植および緩効性肥料栽培体系の場合

- 側条施肥田植および緩効性肥料栽培で、基肥に追肥分を含めて施用している場合は、茎数が少なくても追肥の必要はない。

②速効性肥料の基肥＋追肥体系の場合

- 追肥施用時期は下表を目安にして、遅れないよう注意する。
- 中山間地帯や地力が低い生育不良田では、下表より3～4日早めに施用する。
- 追肥施用に際しては浅水で行い、施用後少なくとも5日間は田面水を流さず、水田からの窒素やリン酸の流出を抑える。

平年の追肥施用時期（5月中旬までの移植）

| 品 種 | 追肥施用時期 |
|----------|----------|
| 極早生・早生品種 | 6月10日頃 |
| 中生・晩生品種 | 6月20～30日 |

③「きらみずき」の追肥

- 「きらみずき」は初期生育が比較的旺盛で分けつを確保しやすい一方で、初期生育が旺盛過ぎると穂肥時期までに栄養不足となり葉色が極端に低下する場合がある。
- 基肥が全層施肥の場合は、確実に追肥を施用する。
- 基肥が側条施肥の場合は、ほ場を確認し、葉色が低下したら追肥を施用する。
※オーガニック栽培の場合、有機 JAS 認証の認証機関によって使用できる資材が異なるので注意。

「きらみずき」の追肥施用の目安

【基肥が**全層施肥**】確実に追肥を施用しましょう！

| 項目 | 目安 |
|-------|---------------------|
| 時期 | 6月下旬～7月上旬 |
| 追肥施用量 | 有機質肥料で窒素成分 2 kg/10a |

【基肥が**側条施肥**】葉色が低下したら追肥を施用しましょう！

| 項目 | 目安 |
|-------|------------------------------|
| 葉色 | 葉色板 3.8 以下（SPAD 値で 35 以下）で施用 |
| 追肥施用量 | 有機質肥料で窒素成分 1 kg/10a |

【参考】

「きらみずき」の栽培者向け情報(滋賀県ホームページ)
「きらみずき」の栽培研修会資料などが掲載されています。



<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/nougyou/ryutsuu/336295.html>

(3) 病害虫防除

① イネ縞葉枯病

4月12日発表「病害虫発生予察注意報第1号 イネ縞葉枯病の多発のおそれ」参照

<http://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5465939.pdf>



または 県 HP 組織から探す>農政水産部>病害虫防除所>

病害虫発生予察情報>警報・注意報・特殊報 を参照

→ヒメトビウンカ越冬虫においてイネ縞葉枯病ウイルスの保毒虫率は、過去10年間で最も高く、本病が多発する可能性がある

→イネ縞葉枯病は、ヒメトビウンカが媒介するウイルス病である。発病後の防除はできないため、ヒメトビウンカの防除を実施し、本病のまん延を防止する。

■畦畔や、ほ場周辺の雑草地の除草を行う。

■窒素質肥料の多施用を避ける。

■発病株は、早期に抜き取る。

■6月下旬に発病が多い場合は、7月上旬までにヒメトビウンカに登録がある薬剤を散布する。

② 葉いもち【発生時期：やや早、発生量：平年並】

6月4日発表の「病害虫発生予報第4号」参照

<http://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5474896.pdf>



または 県 HP 組織から探す>農政水産部>病害虫防除所>

病害虫発生予察情報>病害虫発生予報 を参照

→すでに余剰苗でのいもち病の発病を認めている。葉いもち感染好適日予測システム(BLASTAM)でも準感染好適日が出現していることから注意が必要である。

■不必要な余剰苗は直ちに除去する。

■移植栽培：いもち病に有効な長期持続型の薬剤を、育苗箱に施用または移植時に側条施用したほ場では、葉いもち防除の必要性は低い。

■直は栽培：いもち病に有効な長期持続型の薬剤を、は種同時施薬機を用いて土中施用したほ場では、葉いもち防除の必要性は低い。

■多肥田や晩植田、「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「秋の詩」および「滋賀羽二重糯」では特に注意する。

■ほ場をよく見回り、発生を認めたら薬剤を散布する。

■防除する際は、耐性菌を生じやすいので、穂いもちの防除も考慮して同一グループ薬剤の連用を避ける。

◇BLASTAM(ブラスタム)

BLASTAMはアメダスの降水量、日照時間、風速から葉の湿潤時間を推定し、気温と葉の湿潤時間の組み合わせで、「いもち病」の感染に必要な条件となっているかどうかを判定するモデル(病害虫防除所HPより抜粋)

令和6年(2024年) BLASTAM 結果

| | | 今津 | 長浜 | 米原 | 南小松 | 彦根 | 東近江 | 大津 | 信楽 | 土山 |
|-------|---|----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|
| 5月15日 | 水 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月16日 | 木 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月17日 | 金 | - | ○3 | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月18日 | 土 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月19日 | 日 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月20日 | 月 | ○3 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月21日 | 火 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月22日 | 水 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月23日 | 木 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月24日 | 金 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月25日 | 土 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月26日 | 日 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月27日 | 月 | - | - | - | - | ○4 | - | - | - | - |
| 5月28日 | 火 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月29日 | 水 | - | - | - | - | - | - | - | - | ○3 |
| 5月30日 | 木 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 5月31日 | 金 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 6月1日 | 土 | - | - | - | ○4 | - | ○3 | ○4 | ○3 | - |
| 6月2日 | 日 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 6月3日 | 月 | - | - | - | ○4 | - | - | - | ○3 | - |
| 6月4日 | 火 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 6月5日 | 水 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 6月6日 | 木 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 6月7日 | 金 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 6月8日 | 土 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 6月9日 | 日 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |

[JPP-NET版BLASTAMの判定結果の指標]

- : 好適条件(湿潤時間中の平均気温が15～25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲にある。)
- 1: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満)
- 2: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上)
- 3: 準好適条件(湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃以外)
- 4: 準好適条件(湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い)
- ?: 判定不能

～農業情報の配信について～



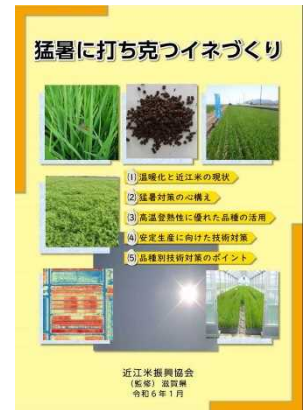
- 滋賀県では、「防災・防犯等の情報をはじめとする滋賀の安全・安心のための情報やイベントのご案内など」を、ご希望の方へ情報配信しています。
- 台風等の気象災害や病害虫の発生が懸念される際に農業技術情報や農業に関するイベントのご案内など農業者向けの情報も配信しています。農業に関するタイムリーな情報収集手段の一つとして、是非ご利用ください。
- 詳しいサービスの説明、ご利用上の注意及び利用規約は下記の滋賀県ホームページをご覧ください。

滋賀県ホームページ「しらが（しらせり滋賀情報サービス）ご案内」
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/ict/306374.html>



「猛暑に打ち克つイネづくり」について

- 令和6年5月21日大阪管区気象台発表の3か月予報では、近畿地方の平均気温は高い見込みです。
- 今後の水稻の生育、気象には十分に注意しながら、猛暑に打ち克つイネづくりをすすめてみましょう。



【参考】「猛暑に打ち克つイネづくり（令和6年1月近江米振興協会）」
<https://www.ohmimai.jp/images/news/pdf-seisan-inedukuri01.pdf>



【参考サイト】

農業技術振興センター
病虫害防除所
彦根地方気象台
早期天候情報

<http://www.pref.shiga.lg.jp/nougicenter/>

<http://www.pref.shiga.lg.jp/boujyo/>

<http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/souten/>



農業技術振興センター



病虫害防除所

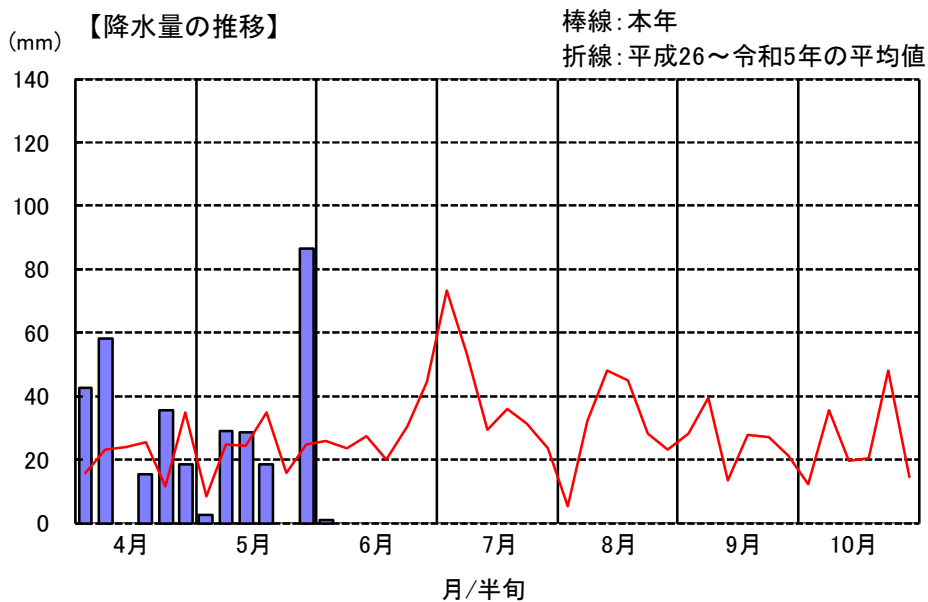
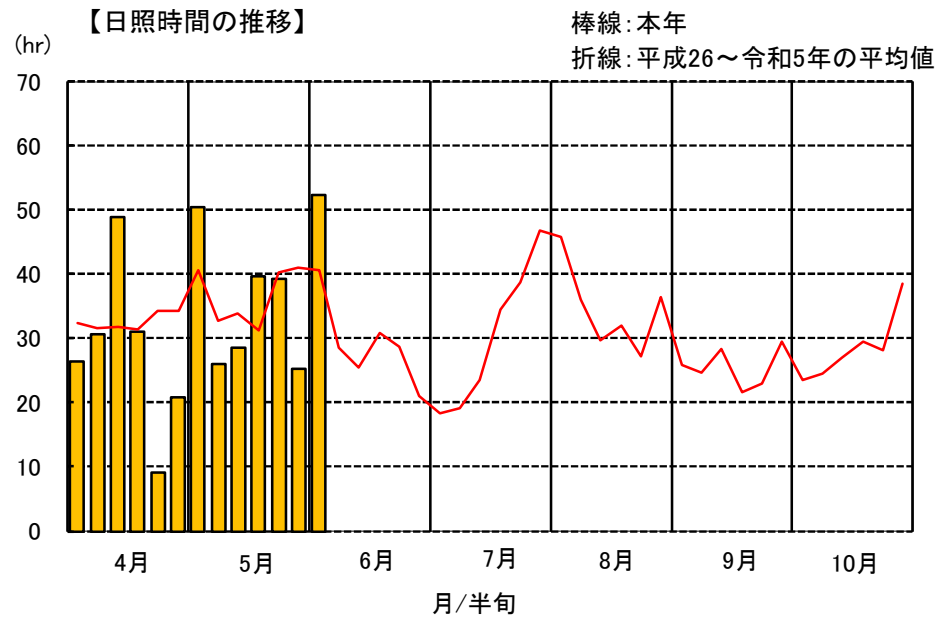
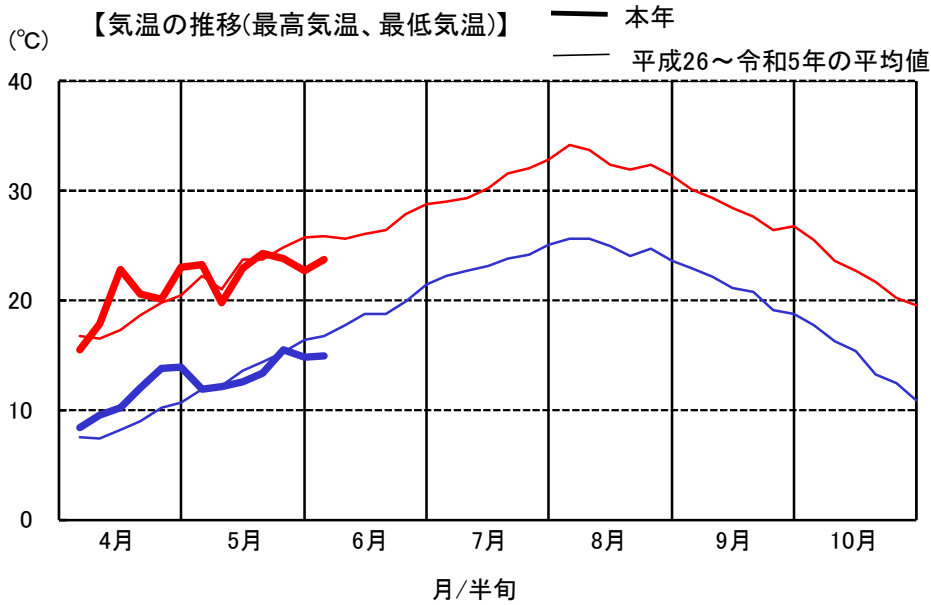


彦根地方気象台



早期天候情報

令和6年(2024年) 水稲作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)



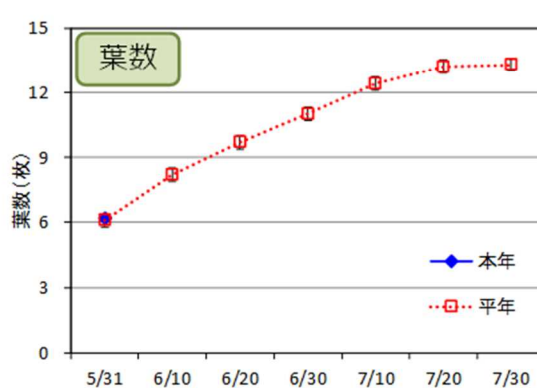
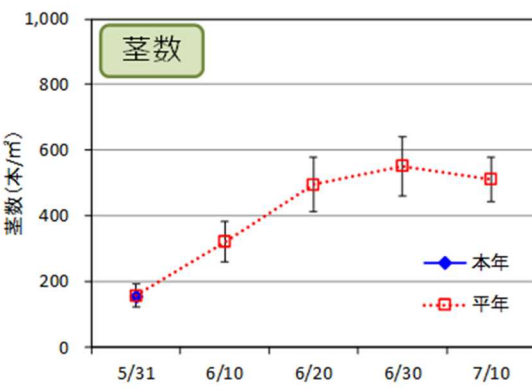
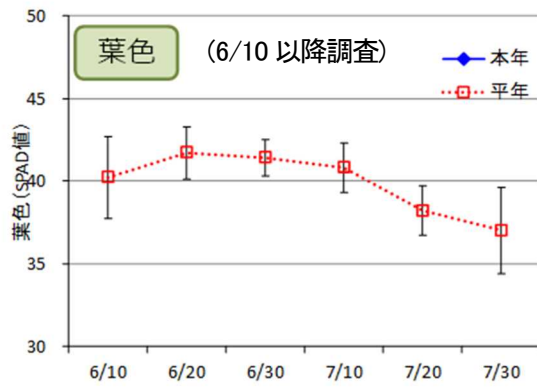
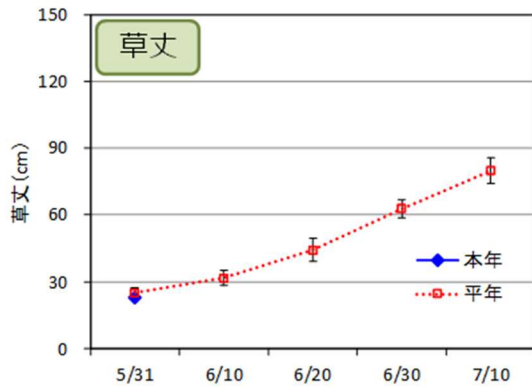
注) 平年は平成26～令和5年の平均値。 5月,7月,8月,10月の第6半旬の降水量および日照時間は6日間の合計値。

令和6年(2024年) 水稲作況調査 生育調査結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

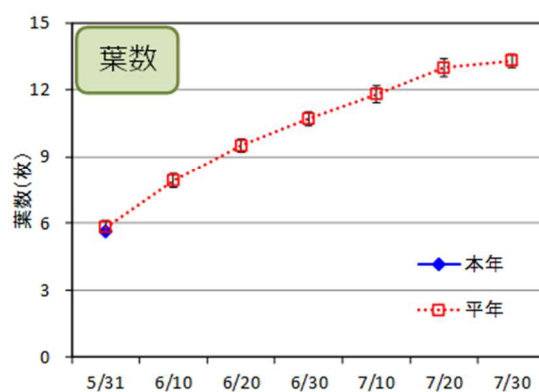
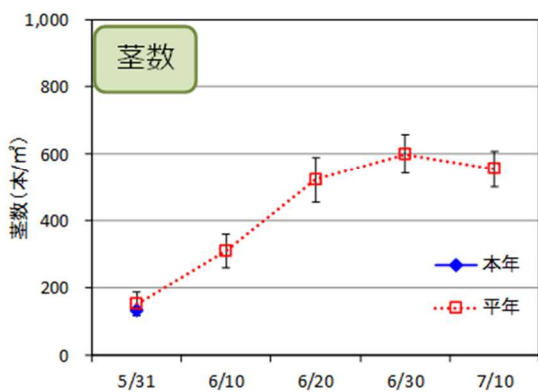
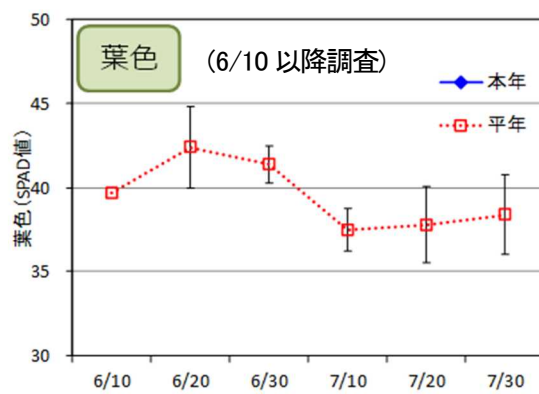
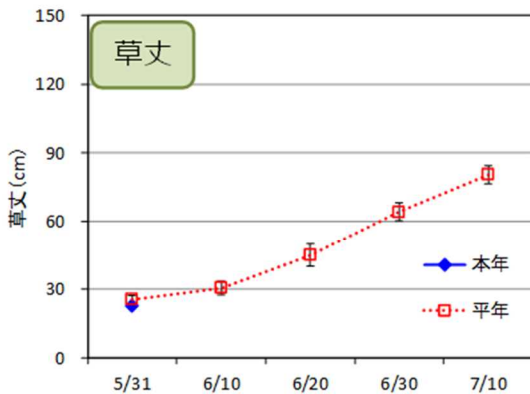
みずかがみ

播種: 4月19日、移植: 5月10日、栽植密度: 18.5株/m²、植付本数: 3本/株



コシヒカリ

播種: 4月19日、移植: 5月10日、栽植密度: 18.5株/m²、植付本数: 3本/株



注) 平年は過去10年(H26年~R5年)の平均値。

きらみずき

播種: 4月19日、移植: 5月10日、栽植密度: 18.5株/m²、植付本数: 3本/株

